

★ひよこ組 「私だって…」



先生やお姉ちゃんたちがやっていのように、私だってやってみたい!

こっちもふきふき

ごしごし



年末に保育者や大きい組のお兄さん、お姉さんたちが大掃除をしているところを近くで見ているGちゃん。雑巾を指さし「ほし(い)〜」と言い、雑巾(きれいなタオル)をかしてもらおうと、保育者やお兄さん、お姉さんの真似をして壁や床を拭き始めました。Gちゃんの様子や保育者が「ごしごし、たのしいね」とGちゃんに声をかけているのを見ていたSちゃん。同じように興味を示し、雑巾をもらおうと早速、壁や床を拭き始めました。二人は自分の周りにあるものを拭いて、掃除ごっこを楽しみました。今でも、遊びの中で、掃除ごっこを繰り返しています。日々の生活の中で、保育者や周りにいる人がしていることに“やってみたい”と興味もち、そしてその思いが叶ったことにより、満足そうに何度も繰り返し遊ぶ姿を見て、嬉しく思いました。感じ取ったことや心動かされたことを身近な人と一緒に楽しんだり、伝え合ったりができるようになり、一緒に過ごす中で、保育者は「上手にできたね」「ありがとう」等、言葉を掛けながら子どもの姿を認め、子どもの“やってみたい”“おんなじでうれしいな”の気持ちに寄り添いながら、共感的に関わり、喜びや自信につなげていきたいと思えました。

こんなことが育っていてほしいなあ…
保育者と一緒に生活や遊びの中での体験を通して、イメージや感性が豊かになればいいなあ。

★きりん組 :「どうなった?」～自然の不思議～



全部凍ったかなあ。上手いかなかった…。

なんだか溶けちゃうね。手があったかいからだね

雪が降り始めたころに行った水づくりを「またやってみたい」と意欲満々で再チャレンジし、出来上がった氷を手を持っている場面です。よく見ると、表面は凍っていますが、中は水のまま。「どうして凍らないんだろう?」と言葉を交わし不思議がっています。そうこうしているうちに、手で触っていることで、氷がどんどん溶け出し、「どんどん溶けちゃうね。なんだろう?」「手が温かいから溶けちゃうんだよ」と伝え合う姿も見られました。お家で水づくり挑戦した子ども達の中にも、容器や水の量が大きくて上手いかなかった…と失敗してしまった声もありました。一人一人の「どうしてだろう?」「こうした方がよかったかな?」「こうしたらどうなる?」など考えたり、自分なりに試したり、発見したりを遊びの中で経験させていきながら、「成功して楽しいな、もっとやってみたい!」「上手いかなかったけど、またやるう!」と繰り返す姿につながる援助を心がけていきたいと思えました。

こんなことが育っていてほしいなあ…
自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心が高まればいいなあ
自分の経験したことや考えたことを話し伝え合い喜びを味わえればいいなあ

